



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月8日

上場会社名 株式会社 タクミナ  
コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭祐

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 植田 和寛

TEL 06-6208-3971

定時株主総会開催予定日 2024年6月19日

配当支払開始予定日

2024年6月20日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,015	13.0	1,582	8.5	1,611	9.2	1,195	12.7
2023年3月期	9,744	12.3	1,458	19.8	1,475	16.5	1,060	20.5

(注) 包括利益 2024年3月期 1,426百万円 (22.6%) 2023年3月期 1,163百万円 (25.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	165.22		12.6	11.3	14.4
2023年3月期	146.82		12.4	11.4	15.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 2百万円 2023年3月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,907	10,023	67.2	1,384.20
2023年3月期	13,713	8,971	65.4	1,241.41

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,023百万円 2023年3月期 8,971百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,135	465	407	3,897
2023年3月期	899	429	330	3,614

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		20.00		30.00	50.00	361	34.1	4.2
2024年3月期		25.00		25.00	50.00	362	30.3	3.8
2025年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00		30.2	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	4.4	1,600	1.1	1,615	0.2	1,200	0.4	165.72

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	7,728,540 株	2023年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2024年3月期	487,389 株	2023年3月期	501,440 株
期中平均株式数	2024年3月期	7,236,202 株	2023年3月期	7,222,197 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,000	13.3	1,437	11.6	1,462	3.5	1,078	4.6
2023年3月期	9,709	12.2	1,288	22.1	1,515	37.3	1,130	52.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	148.91	
2023年3月期	156.45	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	14,403	9,453	65.6	1,304.73
2023年3月期	13,412	8,557	63.8	1,183.35

(参考) 自己資本 2024年3月期 9,453百万円 2023年3月期 8,557百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
品目別売上・受注高 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済活動の正常化が一段と進展し、緩やかな回復基調が続きました。一方で、ウクライナ情勢や物価上昇の長期化に加えて、各国の金融引き締め政策や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、国内では、高水準の企業収益に支えられた旺盛な設備投資意欲を背景に、受注は好調に推移しました。また、海外向けでは、二次電池業界の設備投資が引き続き活発なことから、同業界向けの受注が好調に推移し、業績拡大に寄与しました。

以上の結果、売上高は、110億15百万円（前期比13.0%増）となり、前期に続き過去最高を更新しました。

利益面につきましては、仕入部材等の価格上昇の影響を一部受けたものの、売上増加に伴う増益等により吸収することができたため、売上総利益は49億96百万円（同11.5%増）と増加しました。また、企業活動の復調に伴う販売費及び一般管理費の増加を、売上総利益の増加により吸収することができたため、営業利益は15億82百万円（同8.5%増）、経常利益は16億11百万円（同9.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は11億95百万円（同12.7%増）となり、各利益についても過去最高を更新しました。

主な品目別販売実績は以下のとおりであります。

#### <高性能ソリューションポンプ>

国内市場では、当社グループの主力製品である「スムーズフローポンプ」の主要市場となるケミカル業界において、二次電池関連や素材関連を中心に堅調な設備投資需要が継続しており、MLCC市場の在庫調整による一服感があったものの、同製品群の販売は前期に続き好調に推移しました。また、カーボンニュートラルやBCP対策、事業ポートフォリオの転換に取り組む顧客動向により、環境負荷低減や自動化・効率化など、スムーズフローテクノロジーを駆使したソリューションの採用も広がりつつあります。2023年10月には「高機能素材week2023」に出展し、電池・MLCC市場のほか、塗装やフィルム、接着剤等の製造工程に向けて「スムーズフローポンプ」を中心とした流体ソリューションを紹介し、高付加価値付与への貢献を訴求しました。

海外市場では、韓国企業における二次電池関連の投資計画が規模の拡大を見せながら進展するなか、「スムーズフローポンプ」の納入が継続しており、売上が大きく増加しました。

以上の結果、高性能ソリューションポンプの売上高は、44億23百万円（前期比13.9%増）となりました。

#### <汎用型薬液注入ポンプ>

コロナ禍からの復調が顕著な滅菌・殺菌業界及びプラント向けの水処理関連の動きが国内外ともに活発化しており、工場の再稼働や操業度の回復に伴う需要の増加により、売上は増加しました。2023年8月には、札幌ドームで開催された「下水道展'23札幌」に出展し、下水処理工程をメインターゲットとした設備費・維持管理費の削減や制御の簡素化などによる水処理設備の合理化についてアピールしました。

以上の結果、汎用型薬液注入ポンプの売上高は、28億81百万円（前期比11.5%増）となりました。

#### <ケミカル移送ポンプ>

「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が、国内外における製造業の回復といった主要因のほか、インフラ整備や老朽化対策等による鋼材需要の増加を背景として、製鉄プラント向けの案件を受注し順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、ケミカル移送ポンプの売上高は、7億55百万円（前期比4.9%増）となりました。

#### <計測機器・装置>

コロナ禍のリバウンド需要を主因に案件数が底上げされ、水処理設備の増設・更新に伴う「pH中和処理装置」等の案件を多数受注したことにより、売上が増加しました。

以上の結果、計測機器・装置の売上高は、13億30百万円（前期比20.4%増）となりました。

#### <流体機器>

工業薬品の生産及び流通再編による設備更新需要が案件化されたことなどにより、売上が増加しました。

以上の結果、流体機器の売上高は、4億59百万円（前期比0.7%増）となりました。

#### <ケミカルタンク>

水処理関連で大型タンクやソリューションタンクなどのスポット案件が増加し、好調に推移しました。

以上の結果、ケミカルタンクの売上高は、7億20百万円（前期比11.5%増）となりました。

#### <その他>

その他には、立会調整費やメンテナンス等の売上高及びその他（レストラン、フィットネス）の売上高が含まれております。

その他の売上高は、4億45百万円（前期比27.0%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11億93百万円増加し、149億7百万円となりました。

流動資産は9億42百万円増加し、103億10百万円となりました。主な増加内訳は、現金及び預金の増加1億97百万円、売上債権の増加1億74百万円、有価証券の増加99百万円、棚卸資産の増加4億90百万円であります。

固定資産は2億51百万円増加し、45億97百万円となりました。主な増加内訳は、無形固定資産の増加34百万円、投資その他の資産の増加2億23百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億42百万円増加し、48億84百万円となりました。

流動負債は2億22百万円増加し、37億15百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少47百万円、未払法人税等の増加23百万円、賞与引当金の増加54百万円であります。

固定負債は80百万円減少し、11億68百万円となりました。主な減少内訳は、退職給付に係る負債の減少64百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて10億51百万円増加し、100億23百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する当期純利益11億95百万円から配当金3億98百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加7億97百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億94百万円、為替換算調整勘定の増加20百万円、退職給付に係る調整累計額の増加17百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.4%から67.2%へと1.8ポイント上昇いたしました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて2億83百万円増加し、38億97百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて2億35百万円増加し、11億35百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益16億5百万円、減価償却費2億50百万円、賞与引当金の増加54百万円による資金の増加及び退職給付に係る負債の減少60百万円、売上債権の増加1億68百万円、棚卸資産の増加4億90百万円、仕入債務の減少47百万円、法人税等の支払4億11百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて35百万円支出が増加し4億65百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億62百万円、無形固定資産の取得による支出70百万円、投資有価証券の取得による支出1億22百万円による資金の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて76百万円支出が増加し、4億7百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払3億98百万円によるものであります。

また、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	65.4%	67.2%
時価ベースの自己資本比率	65.1%	94.0%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.45年	0.35年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	364.25	581.25

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息の支払額

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移することが期待されますが、一方で、原材料価格の高騰や各国の金融引き締め政策に伴う影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況は続くものと判断しております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境については、水処理向けが復調していることに加えて、期初における受注残高を前期以上に大きく積み上げていることなどから、翌連結会計年度における売上高は増加を予想しております。

一方で、次期以降もエネルギー資源や原材料価格の高騰は続くものと想定しております。さらには、継続的な賃上げの実施を含む事業成長に向けた投資を拡大させるため、事業コストの上昇を見込んでおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、以下のとおり、それぞれ微増を見込んでおります。

このような経営環境の中、顧客創造及び事業拡大に向けた積極投資を行い、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

売上高	11,500百万円 (前期比 4.4%増)
営業利益	1,600百万円 (前期比 1.1%増)
経常利益	1,615百万円 (前期比 0.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200百万円 (前期比 0.4%増)

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけており、継続的な配当の実施を基本方針としております。

配当性向は30%~50%を目安とし、毎年の業績変動に柔軟に対処するため直近5年間の配当性向を参考に判断し、増配の継続に努めます。また、利益の向上を通じて企業価値向上を図るべく、内部留保資金は、将来の成長分野への重点投資に有効活用いたします。

当期末の一株当たり配当金につきましては、25円を予定しております。その結果、当期の年間配当金は中間配当金25円を含め、計50円を予定しております。

また、次期の一株当たり配当金につきましても、中間配当金25円、期末配当金25円の計50円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者は、主として国内の株主、債権者、取引先であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、他社のIFRS適用についての動向を踏まえたうえで、対応の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,786,013	3,983,514
受取手形	502,708	436,013
売掛金	2,562,203	2,396,487
電子記録債権	1,218,500	1,625,516
有価証券	—	99,994
商品及び製品	185,996	265,835
仕掛品	12,551	2,806
原材料及び貯蔵品	1,045,311	1,465,705
その他	57,899	37,774
貸倒引当金	△3,451	△3,489
流動資産合計	9,367,732	10,310,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,442,748	1,381,345
機械装置及び運搬具(純額)	108,981	164,505
土地	644,159	644,159
その他(純額)	174,628	173,943
有形固定資産合計	2,370,518	2,363,953
無形固定資産		
無形固定資産	164,518	198,760
投資その他の資産		
投資有価証券	1,164,836	1,459,327
繰延税金資産	346,039	266,712
退職給付に係る資産	47,230	69,590
その他	255,012	240,228
貸倒引当金	△2,164	△1,119
投資その他の資産合計	1,810,954	2,034,738
固定資産合計	4,345,991	4,597,453
資産合計	13,713,724	14,907,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,784	732,967
電子記録債務	1,310,620	1,405,163
短期借入金	38,000	38,000
未払法人税等	239,702	263,486
賞与引当金	284,000	338,000
その他	746,145	938,193
流動負債合計	3,493,253	3,715,810
固定負債		
長期借入金	350,000	350,000
繰延税金負債	22,068	13,129
再評価に係る繰延税金負債	26,734	26,734
退職給付に係る負債	718,915	654,665
その他	130,960	124,086
固定負債合計	1,248,679	1,168,616
負債合計	4,741,932	4,884,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	759,219	773,736
利益剰余金	7,262,973	8,060,415
自己株式	△297,549	△289,433
株主資本合計	8,617,641	9,437,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,346	452,718
繰延ヘッジ損益	1,062	—
土地再評価差額金	30,438	30,438
為替換算調整勘定	65,016	85,794
退職給付に係る調整累計額	△713	16,516
その他の包括利益累計額合計	354,149	585,468
純資産合計	8,971,791	10,023,186
負債純資産合計	13,713,724	14,907,613



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,744,697	11,015,511
売上原価	5,262,712	6,018,836
売上総利益	4,481,984	4,996,675
販売費及び一般管理費	3,023,148	3,413,794
営業利益	1,458,836	1,582,880
営業外収益		
受取利息	8,486	23,303
受取配当金	15,195	20,816
持分法による投資利益	1,640	2,723
その他	12,251	12,123
営業外収益合計	37,573	58,966
営業外費用		
支払利息	1,767	2,087
為替差損	10,569	3,188
寄付金	—	15,000
投資有価証券運用損	5,184	5,621
その他	3,171	4,050
営業外費用合計	20,693	29,948
経常利益	1,475,716	1,611,898
特別損失		
減損損失	27,800	6,599
特別損失合計	27,800	6,599
税金等調整前当期純利益	1,447,915	1,605,298
法人税、住民税及び事業税	393,985	432,207
法人税等調整額	△6,413	△22,443
法人税等合計	387,572	409,764
当期純利益	1,060,343	1,195,534
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,060,343	1,195,534

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,060,343	1,195,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,244	194,371
繰延ヘッジ損益	701	△1,062
為替換算調整勘定	45,738	20,778
退職給付に係る調整額	25,479	17,230
その他の包括利益合計	103,164	231,318
包括利益	1,163,507	1,426,852
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,163,507	1,426,852
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	751,559	6,527,707	△305,646	7,866,619
当期変動額					
剰余金の配当			△325,077		△325,077
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,060,343		1,060,343
自己株式の取得				△239	△239
自己株式の処分		7,659		8,336	15,996
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	7,659	735,265	8,096	751,022
当期末残高	892,998	759,219	7,262,973	△297,549	8,617,641

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	227,101	360	30,438	19,277	△26,192	250,985	8,117,604
当期変動額							
剰余金の配当							△325,077
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,060,343
自己株式の取得							△239
自己株式の処分							15,996
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	31,244	701	—	45,738	25,479	103,164	103,164
当期変動額合計	31,244	701	—	45,738	25,479	103,164	854,186
当期末残高	258,346	1,062	30,438	65,016	△713	354,149	8,971,791

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	759,219	7,262,973	△297,549	8,617,641
当期変動額					
剰余金の配当			△398,092		△398,092
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,195,534		1,195,534
自己株式の取得				△362	△362
自己株式の処分		14,517		8,479	22,996
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	14,517	797,442	8,116	820,076
当期末残高	892,998	773,736	8,060,415	△289,433	9,437,717

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	258,346	1,062	30,438	65,016	△713	354,149	8,971,791
当期変動額							
剰余金の配当							△398,092
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,195,534
自己株式の取得							△362
自己株式の処分							22,996
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	194,371	△1,062	—	20,778	17,230	231,318	231,318
当期変動額合計	194,371	△1,062	—	20,778	17,230	231,318	1,051,394
当期末残高	452,718	—	30,438	85,794	16,516	585,468	10,023,186

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,447,915	1,605,298
減価償却費	230,517	250,572
減損損失	27,800	6,599
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,806	△1,006
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,350	54,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	45,822	△60,831
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,771	△952
受取利息及び受取配当金	△23,681	△44,119
支払利息	1,767	2,087
持分法による投資損益(△は益)	△1,640	△2,723
売上債権の増減額(△は増加)	△674,256	△168,455
棚卸資産の増減額(△は増加)	△354,863	△490,462
仕入債務の増減額(△は減少)	434,463	△47,431
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,539	△4,599
その他	91,423	408,207
小計	1,244,493	1,506,185
利息及び配当金の受取額	22,044	43,301
利息の支払額	△2,470	△1,953
法人税等の支払額	△364,302	△411,961
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>899,764</b>	<b>1,135,572</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△117,300	△117,300
定期預金の払戻による収入	105,300	204,620
有形固定資産の取得による支出	△221,768	△362,527
無形固定資産の取得による支出	△48,234	△70,955
投資有価証券の取得による支出	△251,737	△122,894
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資事業組合からの分配による収入	4,200	6,200
その他	△147	△2,632
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△429,687</b>	<b>△465,489</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	130,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△130,000	△100,000
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△350,000	—
自己株式の取得による支出	△239	△362
配当金の支払額	△323,550	△398,736
その他	△6,948	△8,023
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△330,738</b>	<b>△407,122</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,474	20,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	169,813	283,211
現金及び現金同等物の期首残高	3,444,189	3,614,003
現金及び現金同等物の期末残高	3,614,003	3,897,214

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,241円41銭	1,384円20銭
1株当たり当期純利益	146円82銭	165円22銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,060,343	1,195,534
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,060,343	1,195,534
普通株式の期中平均株式数(株)	7,222,197	7,236,202

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 品目別売上・受注高

## (1)売上高

(単位：百万円)

品 目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	3,883	39.9	4,423	40.2	540	13.9
汎用型薬液注入ポンプ	2,582	26.5	2,881	26.1	298	11.5
ケミカル移送ポンプ	720	7.4	755	6.9	35	4.9
計測機器・装置	1,104	11.3	1,330	12.1	225	20.4
流体機器	456	4.7	459	4.2	3	0.7
ケミカルタンク	646	6.6	720	6.5	74	11.5
その他	350	3.6	445	4.0	94	27.0
合 計 (うち海外)	9,744 (1,635)	100.0 (16.8)	11,015 (2,347)	100.0 (21.3)	1,270 (711)	13.0 (43.5)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

## (2)受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品 目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		増 減		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
受 注 高	高性能ソリューションポンプ	4,563	42.5	4,549	40.3	△14	△0.3
	汎用型薬液注入ポンプ	2,621	24.4	2,931	25.9	309	11.8
	ケミカル移送ポンプ	759	7.0	792	7.0	32	4.3
	計測機器・装置	1,257	11.7	1,284	11.4	26	2.1
	流体機器	428	4.0	556	4.9	127	29.9
	ケミカルタンク	688	6.4	755	6.7	66	9.7
	その他	425	4.0	430	3.8	5	1.3
	合 計 (うち海外)	10,744 (2,093)	100.0 (19.5)	11,299 (2,207)	100.0 (19.5)	555 (113)	5.2 (5.4)
受 注 残 高	高性能ソリューションポンプ	1,355	54.7	1,481	54.1	125	9.3
	汎用型薬液注入ポンプ	232	9.4	258	9.4	26	11.3
	ケミカル移送ポンプ	199	8.0	235	8.6	36	18.4
	計測機器・装置	333	13.5	287	10.5	△45	△13.8
	流体機器	132	5.4	229	8.4	96	72.6
	ケミカルタンク	106	4.3	142	5.2	35	33.0
	その他	117	4.7	102	3.8	△14	△12.1
	合 計 (うち海外)	2,478 (711)	100.0 (28.7)	2,738 (572)	100.0 (20.9)	260 (△139)	10.5 (△19.6)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。